



第10号 野洲市手をつなぐ育成会 発行 浅田真澄 印刷所 奥野印刷(株) TEL 077-588-2800

# 一年を振り返って

会長 浅田 真澄

今年も「さらさら」を発行する頃となりました。一年間無事行事を終えることができ、ほっとしております。今年度は保護者会員一三七名、特別会員一六二名、賛助会員二二六名という大変多くの方々に入会いただき、御理解と御協力、本当にありがとうございます。会員本人も保護者も年齢層が幅広く、その様々なニーズにこたえることの難しさを感じています。しかし、それだからこそ様々な年代のいろいろな意見や思いが聞ける場でもあります。また、子育ての環境

は随分変わってき  
ていても、子どもを  
思う気持ち、子育て  
の楽しさや悩み、  
将来に対する不安

や心配は誰もが皆感じることではないでしょうか。毎月開催している茶話会では、そんな日常の話題をたくさん話し合ってきました。そのような中から出たことを今年は要望書として市に提出し、さらに市との懇談を通して私たちの思いを伝えました。これからも子どもたちを中心に、何よりひとりひとりが楽しく参加でき、ほっこりできる会になるよう努めていきたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくお願ひします。



小学生宿泊体験 (8/16~8/17) から



## ホームページを新しくしました

「野洲市手をつなぐ育成会」ですぐ検索できます。どうぞごらんください。  
<http://www.eonet.ne.jp/~hondana/yasu-ikusei/>

## 自分らしい歩みを

副会長 増田 多美子

市内の小中学校の特別支援学級および野洲養護学校の小中学部で卒業を迎えられるみなさん、ご卒業おめでとうございます。四月からは新しい世界の扉が開きます。みなさんがこれから歩む道には、いろいろな事があるでしょう。くじけそうになるときもあるでしょう。それでも失敗を恐れず、できることを「最初の一步」として踏み出してください。私たちは、それぞれ顔が違いますが、みなさんそれぞれ歩んでいます。ゆつくり一歩ずつの人。回り道を歩む人。一直線に歩む人。でも、どの人も力一杯歩んでいるのです。みなさんは、どんな道を歩むのでしょうか。少しずつでもかまいません。自分の道を、自分らしく歩んでください。(篠原小学校長)

## 生きることの意味を

井上 善之

仕事から中学生からよく質問されますが、今までの教員生活の中で、その時どうしても答えられなかった問いが三つあります。「生きるの意味を教えてください。」「なぜ勉強しなければならぬんですか。」「業に稼げる仕事はありますか。」です。

この三つに対して、自分なりの答えを導き出すのに十年以上もかかりました。それをこの限られた字数でお示しすることはできません。ただ私は、これらの問いには「意味」という隠れた共通項があると思っています。生徒たちが私に言いたかったのは、役に立つ勉強には意味があり、あくせく働くことに意味があるとは思えない、ということではなかったのか。そして、自分が生きることに意味があつてほしいのだと。彼らの問いの中にそんな気持ちが垣間見えるのです。しかし、意味のある、なしは誰が決めるのでしょうか。もっと言えば、なぜ意味がなければならぬのでしょうか。私は思います。意味にとらわれず、効率のよいことや、役に立つこと、得することだけに価値を置くようになっていきます。しかし本当に大切なものは、そんなケチなことではなく、自分たちがやるべきこと、やらなければならないことが「わかる」ということです。だからこそ、私たちは「意味がない」と言われることを恐れてはならないのです。そして、そんな意味の影からわが子を守るために、私たちは「手をつなぐ」のです。(野洲市教育委員会)

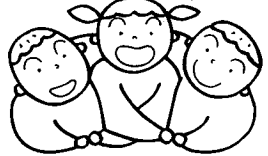
## 法整備より重要な「仲間」づくり

郷 久 相談役

発達への偏りやつまずきのある子に対する教育について野洲市は多くの予算を準備して下さっています。特別支援教育充実のために、例えば、保育園や幼稚園、小学校、中学校へ専門家を派遣する巡回訪問があります。校園での保育・教育をみていただいで支援をどう考えればよいのかのアドバイスを受けています。また、特別支援コーディネーターをして下さっている先生の負担軽減の

ために特別に先生をつけて下さっています。学童にも支援加配を多く配置して下さっています。私は、現在県内各小中高の保護者やお子さんから相談を受けています。相談で感じていることは、保護者、特に母親の悩みや不安がますます深刻化してきているということです。学校にも相談したが「大丈夫ですよ。お母さんの心配のし過ぎですよ」と言われたり、地域の相談センターに出向くと「お子さんはここでみられませんか」と言われたりされて、教育センターに相談に来られる場合が増えてきています。お母さんの中には、子どものことが気になって何度も学校に行くというクレー

マーと思われるからいやなんですと言われる方もおられます。心配・深刻なのは、母親の「孤立化」の問題です。家族にも相談できず、相談するところがわからないといった方の増加です。親御さん同士の語り合いがない方が多いです。学齢期にはとりあえず相談できる場所(学校、機関)があります。しかし、学齢期以降を心配します。野洲市においても「親の会」に入っておられる方が「減少」してきていると聞きます。国や県では「共生社会、インクルージョン」の流れがあります。「共生社会」実現のための「合理的配慮」や「環境整備」についての検討



会員研修
せりやま作業所を見学して

兼子 美智子

九月三日、まだ残暑の残る中「せりやま作業所」とグループホーム「なないろハウス」の見学をさせて頂きました。施設に入り、まずは所長さんからいろいろお話を伺いました。施設の歴史や作業所の仕事内容など、楽しく話して頂きました。作業所の利用者さんも、スタッフの方も同じ仕事の仲間という意識で仕事をされているのが、とても印象に残りました。所長さんのお話を聞いた後、施設の見学をさせて頂きました。お話しを伺っていた隣で作業をされていた方もおられたのですが、注意を逸らされる事無く、一所懸命作業をされていました。また、食品を扱っている班では、帽子にマスク、白衣を身につけられており、衛生管理もしっかりされているんだなと思いました。

続いてなないろハウスを見学させて頂きました。作業所やま作業所やま作業所です。決まり事や当番もきちんと決められており、共同で生活しやすいよういろいろな工夫がされていました。現在、我が子は小学校四年生と幼稚園の年長で、就労というまだまだ先の話です。しかし、将来、どのような施設が自分の子どもにふさわしいのか決めるためには、いろいろな施設を見て考えていかなければならないと思います。また、このような機会があれば、是非参加させて頂きたいなと思いました。



久しぶりの親睦旅行より

会員親睦旅行

十一月二十四日、親睦旅行に参加してきました。目指すは愛知県にある「名古屋港水族館」。久しぶりに参加したということもあり最初はちよつとただドキドキしていましたが、隣に座った後輩親子さんや皆さんのお話を聞いたり、パンフレットを見て息子さんや子どもに見学していくかを相談したりしていくうちに、ワクワクの方が大きくなってきたと思います。美味しかったです。

現地では改装中のブースもありましたが、イワシの群れにイルカショー、そしてペンギンなどの海の生き物の可愛さとおれ合ったり、息子の希望で近隣にあった南極観測船ふじを見学したりしました。普段は仕事の都合で最近中々できなかつた息子との貴重な一日。重なる一日。また来年度も参加できるように一日頑張りたいです。皆さんどうもありがとうございました。



余暇支援親睦旅行

市に対して要望書を提出しました
市との懇談を持ちました

浅田 眞澄

十一月二十六日、山仲善彰市長宛てに要望書を提出しました。この内容は会員の方々の声を集めたもので、役員で決定したものです。以下に概要を記載します。
① サービス利用の移動手段について
作業所と日中一時支援や短期入所の施設との間の送迎は保護者がしないといけないが、これが大きな負担となっており、弾力的な運用ができるようにお願いしたい。
② 中学生以降の障がいのある生徒の放課後や長期休暇の居場所について
現在あるサービスは余暇支援で、夕方四時までのものが多い。保護者の就労支援として六時(延長七時)まで必要と考える。また早朝のサービスも欲しい。
また一月十四日には市の自立支援課と懇談会を持ち、以下について日頃感じていること等を話し合いました。
☆ 特定相談について
☆ 障がい者の老後について
☆ 年末年始の過ごし方について
☆ 宿泊体験について
☆ プール利用について
☆ 災害時の避難について

2014(平成26)年度 野洲市手をつなぐ育成会 事業報告

Table with 6 columns: Date, Day, Event Name, Location, Date, Day, Event Name, Location. It lists various activities like 'Charity Bazaar', 'Sports Carnival', 'Exchange Meeting', etc.

- 会員の募集は人数の確認のため、一旦は6月30日に締め切るが随時募集を実施。
・茶話会 (4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、11/8、12/13、1/10、2/14、3/14)
・運営会議 (4/25、5/30、7/5、9/26、1/9、2/11)
<その他、下記会議に出席>
・自立支援協議会 (全体会議、定例会議、就労部会、発達支援部会)
・野洲市障害者関係団体連絡協議会役員会
・滋賀県手をつなぐ育成会 (総会、理事会、子育て支援部会、財政健全化委員会、代表者会議)
・なかとよ農園実行委員会



OBボーリング

やすまる広場に出店

寄せ植え教室